

横井 昌明 議員 識市会

JRと名鉄の橋上市道化の具体的な実施計画を

問

48・92kmとなっている。

- (1) 都市計画街路の県道弥富名古屋線、日光大橋西線、街路弥生通線、向陽通線、穂波通線の進捗状況は。
- (2) JR関西線と名鉄の上を橋上市道にすれば大変便利であり、市北部地域と市の中地域が一体になる。具体的な計画は。
- (3) 市が河川管理している準用河川の鯛浦川の改修の具体的な計画と実施時期は。
- (4) 孫宝排水経費は、農家の田畑の面積で排水維持経費の負担費用が賦課されている。田畑と農地以外の比率は4対6の比率である。
- 市全体の排水なので、最低でも面積比率の6割以上の排水維持費を市が負担すべきではないか。
- (5) 国土地理院から出ている市町村別の面積で、本市は境界未定で参考値として
- 境界が画定していないのは、境港から北の樋門にかけての数百mである。
- 木曾岬町との話し合いがどうなされたのか。
- (6) 市の財産は、行政財産と普通財産がある。26年度決算を見ると、行政財産が88万3千775㎡、普通財産が6万1千874㎡である。行政財産は市民のために使われているが、普通財産は代替地などの財産である。
- 維持管理を行うためだけに予算執行をしている普通財産は、限りなく減らすべきでは。
- (7) 市の借入金と市債とい、その総額は26年度決算で175億1千532万円である。
- 今後、庁舎建設に合併推進債の借入れが予定されており、起債額は優に200億円を超える。この中の借入

28年度末までに概略設計を作成していきたい

答 開発部長

金で地方交付税の対象となるのは、臨時財政対策債、下水道事業債、新庁舎の合併推進債などの起債である。現状では地方交付税の交付はほとんど見込めない。

中期財政計画に上げてあるような行政改革をすぐにも実施すべきでは。

(1) 都市計画道路の進捗状況について、弥富名古屋線は、県により又八工区約500mに着手いただいている。又八工区の完了目標は33年春ごろと聞いている。

日光大橋西線は、県及び平島中土地地区画整理事業により、名古屋第3環状線交差点から穂波通線までの1千130mが完了している。現在は、平和通線市役所前から名古屋第3環状線交差点までの間の着手に向け、県とともに地元調整中である。

弥生通線は、国道155号線西中地交差点から北へ370m

区間を片側歩道設置計画で本年度より測量設計に着手し、31年度末を完了目標としている。

向陽通線は、計画延長1千10mで、国道1号取りつけ部及び県道新成弥富線交差点付近の整備ができていない。

答 総務部長

(5) 25年11月と12月に市長が木曾岬町長と会い、改めて境界の考え方を尋ねたが、県境問題は、両県・両市町の懸案事項であるので、県を交えて解決に向けて協議をしていきたい。

(2) JR、名鉄弥富駅整備は、北側の暫定広場と駅南側の広場を自由通路で結び、連絡を確保し、駅舎については近鉄弥富駅のように橋上化し、バリアフリー化する整備方針をお示しした。

28年度末までに自由通路などの概略設計を作成していきたい。

答 土木課長

(3) 今年度より県費補助事業の採択を受け、矢板護岸により河川改修を行っている。29年度を事業完了予定としている。

答 市長

(4) 農家の負担は非常に大

きいと思っている。今まで排水賦課金について、市として努力をしてきたが、さまざまな事業がある中で予算配分を検討していきたい。

(6) 維持管理だけ行っている普通財産は限りなく減らすべきである。実際に活用できる土地から順次売却や貸し付けを行っていく。

用途が決まったものは行政財産に変更していく。

答 財政課長

(7) 歳出は、公共施設等総合管理計画をもとに投資の適正化・平準化を図るアセットマネジメントの導入を計画している。

今後はよりスピード感を持って行財政改革に取り組んでいかなければならない。